

実話のおすすめの本



せかいいち うつくしい ぼくの村【ポプラ社】

(作) 小林豊

アフガニスタンの、とある村をモデルにした父と息子(ヤモ)のお話。

ヤモは、戦争に行ってしまった兄の代わりに、初めて父と町へ、スモモとサクランボを売りに行く。ゆったりと流れる物語。最後の一文により、厳しい現実が読者の心に淡々と伝わります。

てるちゃんのかお【金の星社】

(文)藤井輝明 (絵)亀澤裕也

「あなたは顔で差別しますか」自分と違うものを差別したり、いじめるのではなく、その人にしかない価値や個性を見つけるほうがずっと楽しい。人として大切なことを伝えてくれる一冊です。お母様も素敵なんです。

しげちゃん【金の星社】

(作) 室井滋 (絵) 長谷川義史

『わたし、しげちゃん。ピカピカの一年生。』ワクワクして入学した小学校なのに、男の子っぽい名前のせいで嫌な思いをすることがたくさん！自分の名前が好きになれなくて、その思いをお母さんにぶつけます。

女優 室井滋さんが、嫌いと思っていた自分の名前。でも、芸名ではなく本名のままお仕事をしているその理由とは……。

メアリー・スミス【光村教育図書】

(著) アンドレア・ユーレン (訳) 千葉茂樹

ゴムのチューブに豆をこめ、吹いて飛ばす、その仕事。ノッカー・アップーめざまし屋。信用できるめざまし時計が安く手に入るようになる前は、時間通りに起きるには工夫が必要でした。

くまのこうちょうせんせい【金の星社】

(作) こんのひとみ (絵) いもとようこ

ある日、くまの校長先生は小さな声しか出せなくなってしまいました。でもそれでわかった事があったのです……。

これは茅ヶ崎市の浜之郷小学校校長、大瀬敏昭先生の本当の事を元にしたお話です。大切な命、いつか訪れるさよならの日まで一生懸命生きていく……。命のお話です。

わたしたちのトビアス【借成社】

(編) セシリア=スベドベリ (文)(絵) トビアスの兄姉 (訳) 山内清子

あかちゃんの弟が、障害児だと言われた時の4人の兄姉が、見たまま、感じたまま、考えたことを無邪気な絵と文で書き表している本です。

